

● 大切な用語

第1章 自然のなかの生物

生態系	256	ある地域に生息する全ての生物と、その地域の水や空気、土などの生物以外の環境とをひとつのまとまりとしてとらえたもの。
食物連鎖	257	生物どうしの食べる、食べられるという鎖のようにつながった一連の関係。
食物網	257	生態系の生物全体で、食物連鎖が網の目のようにになっているつながり。
生産者	260	無機物から有機物をつくる生物。
消費者	260	植物やほかの動物を食べることで養分をとり入れる生物。
分解者	261	生態系のなかで、生物の遺体や動物の排出物などの有機物を養分としてとり入れ無機物に分解する生物。
菌類	261	カビやキノコなどのなかま。
細菌類	261	乳酸菌や大腸菌などのなかま。
微生物	261	菌類、細菌類をふくむ小さな生物をまとめた総称。
地球温暖化	266	近年地球の平均気温が少しずつ上昇する傾向にあること。

第2章 自然環境の調査と保全

外来生物	275	もともとその地域に生息せず、ほかの地域からもちこまれて野生化し、子孫を残すようになった生物。
-------------	-----	--

第3章 科学技術と人間

プラスチック	283	人工的につくられた有機物で、合成樹脂ともよばれる。
シーベルト (Sv)	289	受けた放射線量の人体に対する影響を表す単位。
再生可能なエネルギー	290	太陽光のように、エネルギー源をいちど利用しても再び利用することができるエネルギー。
太陽光発電	290	太陽電池に光を当てて発電する。
風力発電	290	風で風車を回して発電する。

地熱発電 290 地下のマグマの熱でつくられた水蒸気を利用して発電する。

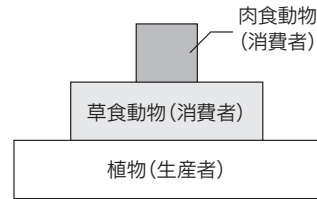
バイオマス発電 291 作物の残りかすや家畜のふん尿、微生物を使って発生させたメタンなどを燃焼させて発電する。

循環型社会 295 社会に必要なさまざまな天然資源の循環を可能にし、再利用の割合をより高めた社会。

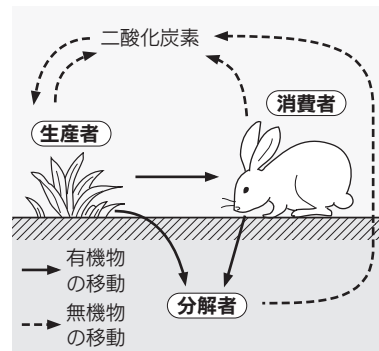
終章 持続可能な社会をつくるために

持続可能な社会 303 環境の保全と開発のバランスがとれ、将来の世代に対して、継続的に環境を利用する余地を残すことが可能となった社会。

生物の数量的な関係



炭素の循環



現代生活を支える発電の種類

- 水力発電 位置エネルギー → 電気エネルギー
- 火力発電 化学エネルギー → 電気エネルギー
- 原子力発電 核エネルギー → 電気エネルギー
- 太陽光発電 光エネルギー → 電気エネルギー
- 風力発電 運動エネルギー → 電気エネルギー